



3月1日現在の中山

世帯数 1,366

人口 3,338

【問い合わせ】
中山公民館報編集委員会
58-5822

●大谷 昊晴 (和泉)
中学校では、何か運動部に
入ります。勉強をしっかりとやっ
て、楽しくすごしたいです。

●小澤 岳翔 (埴原西)
しっかりと学校に行きた
いです。たくさん友だちを
つくって学校に行くのを楽
しくして勉強をしっかりとし
たいです。

●片倉 彪我 (棚峯)
バスケット部に入りたいです。
ちゃんと活やくでできるように
いっぱい練習してうまくなり
たいです。

●加藤 あおい (埴原北)
私は、勉強をがんばりたい
です。成績がよくないと、部
活ができないし、みんなになっ
ていけないからです。

●川上 陽翔 (埴原西)
ぼくが中学生になったら
バスケット部に入って今よりも
もっと技を磨いて強くなり
たいです。



中学生になったら

平成30年度中山小学校卒業生

●小林 晟也 (棚峯)
中学生になったら友達作り
をしたいです。そのために兄
からコツを教えてもらって友
達をたくさん作りたいたいです。

●白石 亜美 (埴原北)
私は、中学校で勉強をがん
ばりたいです。そのために小
学校の勉強を復習して、完ぺ
きにしておきたいです。

●丸山 悠舞 (和泉)
私は、先生の話をしっか
り聞いて、聞きのがしがな
いようにしたいです。その
ために話していい時か考え
たいです。

●手塚 愛心 (埴原西)
私は、毎日提出物をしっ
かり出して、3年間忘れ物
をしないようにしたいです。
勉強も毎日忘れずにやりた
いです。

●百瀬 湊泰 (埴原北)
ぼくは、部活の練習を忘れ
ず参加したいです。
そして、勉強もまじめにや
りたいです。

●中島 望葉 (埴原北)
私は、勉強をがんばりた
いです。今より勉強はむずか
しくなるけど、自主勉強を
やって、できない所をなくし
たいです。

●百瀬 志貴 (松原)
勉強をがんばりたいです。
友だちもたくさんつくりたい
です。そのためにみんなに優
しくしてあげたいです。

●中島 李緒 (埴原東)
私は、先生の話や、友達
の話をしっかりと聞いて、勉
強に遅れないようにして、責
任を持って生活したいです。

●山口 莉央 (和泉)
私が中学生になったら、一
週間に一冊は本を読むとい
う事を忘れずやりたいです。ラ
ンキングなどつきたいです。

●西川 慶一郎 (和泉)
ぼくが中学校でがんばり
たいことは、「人の話を聞く」
です。先生の話をしっかり聞
いて、いい中学生になります。

●山田 英磨 (和泉)
中学生になったら生活態度
をしっかりとしたい。そのた
めに提出物をしっかり出した
り、人の話を聞いたりしたい。

●松岡 実里 (和泉)
中学生になったら部活をが
んばりたいです。吹奏楽部に

シリーズ 中山小学校
わたしたちの
クラス紹介

シリーズ最終回は5年生。男子13名、女子10名、計23名のクラスです。

教室を覗くと、入って良いものか迷うくらい、みんな真剣な顔で机に向かっていています。それもそのはず、テストの間違い直しをしていました。窓側の壁には一人一人の3学期の目標が、習字で立派に書かれています。



担任は田原和幸先生。4月から中山小学校に赴任され、子どもたちにとっては初めての男性担任とのことです。子どもたちに先生の印象を聞きました。初めの頃は？



「声がでかい」「こわい」でした。では今は？の質問に、「今もこわい」「きびしい」「楽しい」とニコニコ

笑顔で答えていました。この笑顔からは「こわい先生」というより、先生との関係が良好であることが伝わってきました。

クラス目標を聞くと、一斉に教室の後ろを指しました。「やる気スイッチON」「一致団結」

とありました。どんなクラスにしたいかを考え、意見を出し合って決めた目標だそうです。「この目標が達成できた人」の質問には、全員が元氣よく自信をもって手を上げていました。

先生のお話も聞きました。子どもたちの最初の印象は、素直で男女問わず仲が良く感じました。クラス目標も、キャンプや運動会、音楽会など大きな行事を一つずつみんなで協力し一緒に頑張る達成出来ていると思えます。6年生から引き継いでいく児童会を頑張る気持ちで伝わり、来年度の中山小学校を盛り上げてくれると思えます。とのことでした。

埴原西マレットゴルフ愛好会
新年会開催

埴原西マレットゴルフ愛好会が、1月20日に構造改善センターで23名の会員が集まり新年会を開催しました。



終わりににはビンゴゲームで最初と最後に当選した方から一言いただくとともに、万歳三唱で会を閉じられました。いつまでもこの愛好会が元氣で存続されることを願っています。

ユマニチュードを学ぶ

「ユマニチュードを学んで認知症ケアに役立てましょう」と題した講座が福祉ひろば主催で2月26日に中山公民館で行われました。講師は介護福祉士の相渡さゆりさん。

フランスで35年前に始まったとされるこの技術の基本は、認知症本人と穏やかに人間的な関係性を築くために、「見る、話す、触れる、立つ」ことを組み合わせながら向き合うことで、本人の症状が改善されること、ケアする側の精神的負担も軽減されることなどの理論をわかりやすく実践を交えながら話してくれました。



伏餅

1月から私の職場(ベーカーリー)に技能実習生がベトナムから来ている。彼女達は、パンを作る工程を学んでいる。

(M・A)